



プレスリリース

避難に関する提言

新型コロナウイルス感染リスクのある今、あらためて災害時の『避難』を考えましょう

2020年5月15日
日本災害情報学会長 片田敏孝

新型コロナウイルス感染症が蔓延するなか、これから本格的な出水期を迎えます。日本災害情報学会では、新型コロナウイルスの感染リスクを避けることを念頭におきながら、あらためて災害時の避難のポイントを皆さんと確認することを目的として、「避難に関する提言」をとりまとめることとなりました。多くの皆様に届けられますよう、ご取材の上、ご報道いただけますと大変幸いです。

【日時】2020年5月15日（金）

【公開】日本災害情報学会ホームページ

○日本災害情報学会とは

「災害情報」をキーワードに、防災・減災に役立つ災害情報や、その伝達・受容のあり方などを調査・研究し、その成果を社会に提言することを目的に1999年4月に設立されました。会員は現在973人（法人含む）で、会員構成は学者・研究者、行政機関、マスメディア、ライフライン、シンクタンクなどの防災担当者、防災関係団体から成っており、アカデミックなばかりではなく実践的な色合いの濃いユニークな学会です。

【問い合わせ先】

企画委員長 須見徹太郎 tttt.tsumi@gmail.com

<（一社）全国地質調査業協会連合会 専務理事>

企画副委員長 秦康範 yhada@yamanashi.ac.jp

<山梨大学大学院総合研究部（工学域・土木環境工学系） 准教授>